

磐城時報

第四十號
日刊
編輯 磐城時報社
印刷 磐城時報社
發行 磐城時報社
電話 一二三四
郵便 磐城時報社
定額 一月四角
半年二元二角
一年四元
廣告 函索即寄

慾の深い強盗 毆られ損で逃走

松本精米所を襲ふ

湯本町字石松本精米所事本政雄(三五)方十四日午前三時頃木綿風呂敷で覆面し兇器を持た強盗押し入り、寝てゐた政雄夫婦を起して金を出せと脅迫したので主人は五十圓だけ出した處、賊は「こればかりのハシタ金では足りぬ。もつと出せ」と尻をまくつたので主人政雄は小櫃に觸り、傍らにあつた窓口で賊の頭部を力まかせに殴りつけたので賊は狼狽して五十圓を置いたまゝ、何れへか逃走した。急報に接し平署から十四日朝朝警備司法主任、青田刑事部長以下出張し頭つきづを手懸りに犯人捜索中である。

タツタ一人の地主が應ぜぬ 平第三校の敷地

平町立第三小學校が四千二百餘着工期を前に平町當局は非常な坪の敷地を正内町に撰定之を買狼狽してゐるが、買収に應ぜぬ收の上、いよく來月上旬着工といふ某地主は「平町の發展はすることに決定したことは既報新川に阻止され、いやが上にもこの如くであるが、敷地の四千二百坪にのびることが明かである百坪は十數筆となり所有者も十の如く、如何に公共事業ではあつても二名の多きに達する所から買収しても此の不景氣を控へ協定價格同時に平小鐵道の起點として目付に付いては、たゞへ協定價格に提供することはいふことは無産階級に依るとはいへ、相當の困難は免級である者々の到底出來ない相繼ぬものと一般から豫想されて續である」と語つてゐるが、平町が所果せるかな、買収に付いては一人のためには協定價格の値上げも出來ず、去りとて一人電力株式會社平營業所長武田禎一氏は本社營業課長に榮轉し來

平町の動態

躍進の地
平町は今や人口二萬七千と注せられ遠からずして市制の實施を見るであらうといはれてゐるだけに同町民の動態も年中を通じて真に目まぐるしいものがある

これを昨年末の統計に徴するに
▲結婚二〇八 ▲離婚一七 ▲出生男二六二、女三五四、計五二六 ▲死亡一八〇 ▲相續五九 ▲轉籍八三 ▲分家五六 ▲養子縁組四一 ▲入籍二六
合計實に一千九百九十六件の多數に上るが試みに前記の数字に就いてその一日當りを見るに出生の一日平均一人四分に對し死亡は七分七厘に當り昨年中においては差引き二百三十七人の人口が殖へたわけである、而も以上の状態を以て推移するにれば平町の人口が三萬に達するには今後十年を要するわけであるが今後十年の増加率は逐年の人口増加に伴ひ年と共に加速度を以てするものと觀られる節があるので恐らく數年後に至れば人口三萬の都市として恰もこれと前後して完成する小名濱商港の背景となり二名の多きに達する所から買収しても此の不景氣を控へ協定價格同時に平小鐵道の起點として目付に付いては、たゞへ協定價格に提供することはいふことは無産階級に依るとはいへ、相當の困難は免級である者々の到底出來ない相繼ぬものと一般から豫想されて續である」と語つてゐるが、平町が所果せるかな、買収に付いては一人のためには協定價格の値上げも出來ず、去りとて一人電力株式會社平營業所長武田禎一氏は本社營業課長に榮轉し來

重役決定 片倉製糸

十二日午後一時から平町石城郡會議事堂に於て片倉製糸會社社員大會を開催したが左の如く役員決定を見た。
▲社長今井五六 ▲専務野崎熊次郎 ▲取締役武井方人、鈴木辰三郎、諸橋守次、萩原義雄、井上茂作、大平陸四郎

松崎貨物自動車 夏井川に墜落

六十枚橋上から
十二日午後五時半頃平町振地小員は微傷も負はず車体は僅か泥路松崎安所有貨物自動車第四九よけの一部を破損したのみであり松崎一(二四)が運轉し夏井川に架けて夏井平署で運轉區間外を無届で運轉した原因により關係者を取調べ中のため重量に耐へ兼ね三間程墜落し自動車は高さ五間余の河中に轉落したが奇蹟的に乗組員を捕獲した。

理髮組合長を 承諾せぬ石崎氏

けふ善後策協議
平警察署管内理髮業組合では過般總會を開き役員改選の結果平町石崎幸一氏が組合長に當選したが、石崎氏が固辭してうけぬので組合幹部は十四日午前十時から湯本町の前組合長野崎徳太郎方に集合善後策を協議した。

石城郡内 議員選舉日割

石城郡に於ける町村會議員選舉日は左の如く決定發表された
▲五月三十日 泉 ▲同三十日 渡邊 ▲六月二十九日 幡田 ▲六月三十日 錦 ▲七月四日 勿來 ▲六月五日 上原 ▲同十一日 入道 ▲六月十七日 川部 ▲五月八日 田人 ▲同八月一日 荷路 ▲八月三日 貝泊 ▲八月六日 石住 ▲五月三十日 平町 ▲三月十二日 野間 ▲同五日 江名町 ▲二月二日 鹿島 ▲十七日 小名濱町

大島元代議士 比佐氏宅を訪ふ

去る十二日來郡した元代議士大島要三氏は十三日湯本町に至り代議士比佐昌平氏宅を訪れ病床にある比佐氏の母室を慰めた。

仲里辯護士 公庭で卒倒

平町振地小路辯護士仲里文平氏は宮城控訴院に於て公判中略血を吐いて卒倒し治療中である。

泥棒電工

三井炭礦電工渡藤廣(二八)は去月十日午後四時半頃同炭礦電工事務所内で脱いであつた三森祐次所有オーバーのポケットから銀制時計を窃取し更に一月十二日午後五時半頃同人のポケットか

私設消防の 批判演說會

結局取止め
既報去る十一日大浦村大字大森部私設消防組の發會式當日公安を害すものと認められて四倉署に檢束された片寄甚之丞外五名は十二日釋放された。尚ほ野崎滿藏、萩原義雄外數氏は大浦村に於て批判演說會を開く筈であつたが都合により取止めた

錦校修學旅行

石城郡錦村小學校高等科二年生五十余名は荒井校長引率十二日より三日間東京、江の島、鎌倉、横須賀方面に修學旅行を行ふ、特

役につく生活 値打のある生活

四倉校 江戸川生
かうした理由で所謂うちの者ある価値の人とならうとするならば、なるべく多くの人のし、頼のすくない仕事をするのが成功の秘訣である。ある動物學者が、うにつく小さい寄生虫の生殖器を數年間研究して居た。そしてこのの外に二人しないと言つてゐた。彼は年若くして學界に認められ、理學博士、大學教授として、その方面の社會から尊重されてゐる。

酒井正氏逝く

平町南町酒井國三郎氏二男正氏は磐城中学校卒業後新潟高等學校に入り在學中の處、感冒に罹り肺炎中肺炎を併發して十四日朝死した。葬儀は十六日午後二時自宅出棺菩提院で行ふ筈であるが、酒井正氏は秀才として前途を囑望されてゐた人である。

現金十八圓を窃取した事發覺

十三日平署に捕はれた。

泥棒電工

三井炭礦電工渡藤廣(二八)は去月十日午後四時半頃同炭礦電工事務所内で脱いであつた三森祐次所有オーバーのポケットから銀制時計を窃取し更に一月十二日午後五時半頃同人のポケットか

批判演說會

結局取止め
既報去る十一日大浦村大字大森部私設消防組の發會式當日公安を害すものと認められて四倉署に檢束された片寄甚之丞外五名は十二日釋放された。尚ほ野崎滿藏、萩原義雄外數氏は大浦村に於て批判演說會を開く筈であつたが都合により取止めた

私設消防の

批判演說會
結局取止め
既報去る十一日大浦村大字大森部私設消防組の發會式當日公安を害すものと認められて四倉署に檢束された片寄甚之丞外五名は十二日釋放された。尚ほ野崎滿藏、萩原義雄外數氏は大浦村に於て批判演說會を開く筈であつたが都合により取止めた

錦校修學旅行

石城郡錦村小學校高等科二年生五十余名は荒井校長引率十二日より三日間東京、江の島、鎌倉、横須賀方面に修學旅行を行ふ、特

役につく生活

値打のある生活
四倉校 江戸川生
かうした理由で所謂うちの者ある価値の人とならうとするならば、なるべく多くの人のし、頼のすくない仕事をするのが成功の秘訣である。ある動物學者が、うにつく小さい寄生虫の生殖器を數年間研究して居た。そしてこのの外に二人しないと言つてゐた。彼は年若くして學界に認められ、理學博士、大學教授として、その方面の社會から尊重されてゐる。

酒井正氏逝く

平町南町酒井國三郎氏二男正氏は磐城中学校卒業後新潟高等學校に入り在學中の處、感冒に罹り肺炎中肺炎を併發して十四日朝死した。葬儀は十六日午後二時自宅出棺菩提院で行ふ筈であるが、酒井正氏は秀才として前途を囑望されてゐた人である。

現金十八圓を窃取した事發覺

十三日平署に捕はれた。

泥棒電工

三井炭礦電工渡藤廣(二八)は去月十日午後四時半頃同炭礦電工事務所内で脱いであつた三森祐次所有オーバーのポケットから銀制時計を窃取し更に一月十二日午後五時半頃同人のポケットか

賀狀片々

(一) あきら生
御大典の第一春なる昭和四年の年賀状数ある内から改めて茲に其の一々について申述べて見ませう。

西宮市真木錦吉氏、滋賀縣安土村佐々木伊織之助氏、實業家東京四條七十郎氏、川柳家東京草詩堂高木角戀坊氏、海軍大佐返子町鈴木春五郎氏

右の内四條君と鈴木君とは醫中卒業中の秀才です。

明けまして
お目出たうございます、
一九二九・一・一

東京 畑 喜代司
秀 亮 子

ついで新年のおいはひを申し上げます
一月五日 土田 ふじ
(故山村壽島氏未亡人で水戸に居られる)

平町紺屋町

吉田眼科院

電話六八番

ハガキ集

(投書歓迎)

▲カフェーに入つてコーヒー一杯位で二三時間張つてけつかる奴が近ごろ雨後の筍の様に殖えて来た、この輩はサアと云つたら直ぐ喧嘩でもアチまけて杯一にありつかうと云ふ胸算段なんだらう。(カフェーごころ)

安全第一

諸債券、公債類の御用は是非迅速簡易をモットーとする弊店を精々御利用下さい

營業

勸業債券 兩替
復興債券 金融
公債其他

課目

質物一般取扱

多田井商店
平町大町

内臓外科専門 藤本順
骨關節外科門
整形外科

産婦人科 木村寅次郎
婦人科 院長

木村醫院
平町新川町(電話一六四)

油と味噌 味噌

山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三

東京支店
電話下谷五七二番
振替東京六八三二二番

咳止の 妙藥

オピール錠

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試験

大平屋藥店
平町一丁目(電話四六二番)

良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店
金物問屋
磐城平 電話一九三九番

確實敏捷は(久)の生命なり!!!

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

支那六神丸

特約店 平町五丁目 山野邊藥局

内科、小兒科 入院應需
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平五〇七番

大學脱腸帶
子供の脱腸は必ず全治します
大人の脱腸は必ず止まります

代理店 平町四丁目 小野屋藥舖
電話一四四

▲照會には親切に御答へします。説明書を送ります。

小野屋藥舖

平町四丁目
電話一四四

磐城共濟病院組織

内科 小兒科 (院長毎日診察)
院長 醫學博士 難波
副院長 醫學士 五十嵐 雄藏
内科部長 醫學士 中西 林藏
外科 內臓外科、整形外科、レントゲン科
外科部長 醫學士 鈴木 憲介
毎日手術 醫學博士 鈴木 憲介
産婦人科 醫學士 五十嵐 雄藏
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄藏
顧問 醫學博士 川添 正道

X光線科
主任、醫學博士 難波
本院主事 賀澤 忠治 著陸

◎御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所(共濟病院内)十一月二日より開始
一病氣相談所(共濟病院内)十二月二日より開始
一救療所(共濟病院内)十二月二日より開始

平町電話六四一番 磐城共濟病院
入院院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

二葉印刷所

平町字仲町
電話七三四番

拜啓 患息正儀新潟高等學校在學中の
處本日午前五時自宅に於て病死仕候
間此段辱知諸氏に御通知申上候
追而明後十六日午後二時當町菩提院に於
て葬儀相営み申し候
昭和四年一月十四日
平町南町
親戚總代 高岡唯一郎

酒井國三郎

平町南町